泉のほとり

●三位一体後第二十主日

今月の詩編「第九十九編」

我らの神、主をあがめよ。
その聖なる山に向かってひれ伏せ。
我らの神、主は聖なる方。



すべての人の主

ローマの百人隊長コルネリウスは異邦人でありながらも、イスラエルの神を信じ、絶えず祈り、多くの施しをして人々を助けていました。家族や部下も信仰へと導き、ユダヤ人からも良い評判を受けていました。何より、神の目が彼に注がれていたのです。神は天使を遣わし「あなたの祈りと施しは神に覚えられた。ペトロを招きなさい」と告げられます。

一方、ユダヤ人のペトロは、汚れているとされた異邦人と交わり、その家に入ることを律法で禁じられていました。しかし神は幻や、聖霊のお告げを通して、異邦人の家を訪れるよう示されました。コルネリウスの家に着くと、大勢の異邦人が集まり、「主があなたにお命じになったことを残らず聞こうとして、神の前にいるのです」と言います。ペトロは信仰に生きる彼らと出会い、神は人を分け隔てなさらないことを悟り、神の御心に目が開かれ、その喜びに満たされたことでしょう。

ペトロは証しします。イエス・キリストこそ全ての人の主であり、神は聖霊と力によってこの方に油を注がれた救い主。自分たちは主がなさったこと全ての証人、と。カイサリアに住む彼らは主イエスのことを耳にし、知っていました。しかし、今聞いているのは噂ではなく、三年間主と共に過ごした証人の証言です。

民のために、みことばを告げ知らせ、良いわざだけを為されたものの、人々から十字架につけられえ、死なれた主。それから3日目に、神は御子をよみがえらせ、ペトロたちは復活された主と再び会い、共に語り、食事をしたのです。

また、かつて預言者たちが前もって語っていた通り、神は救い主イエスを遣わし、主は人の罪を贖うため十字架の道を歩まれたのです。預言者たちが語っていたことを、神、主イエスがその通りに成し遂げてくださったこと、そのすべてを目撃したペトロが、この主イエスを信じる者は誰でも罪の赦しを受けられますと証したのです。

心と耳を開いていたコルネリウスたちは、全てが自分のために為されたみわざと心低く受け止め、主イエスをわたしの救い主と素直に信じました。そのしるしに、ペトロが語っていると、彼らの上に聖霊が降り、ペンテコステの時のように異言を語り、神を大いに讃美したのです。ペトロは「この人たちが水で洗礼を受けるのを、いったい誰が妨げることができますか」と、イエス・キリストの名による洗礼を命じます。これまで汚れた者とみなされ、神の民に加わることの出来なかった異邦人が主に結ばれ、神の民に加えられた。彼の家全体が喜びと讃美に満たされたのです。

ペトロが語ってくださったイエスキリスト、福音は今、わたしたちにも届けられています。神は人を分け隔てなさらず、全ての人のために御子を与え、わたしたちの罪のために十字架で死なれた主、復活の主、あなたの救い主がおられるとの証が届いています。

コルネリウスたちは、全てを信じ、救い主と共に生きる道、主の言葉と聖霊の働きによってますます御心にかなう者とされていく幸いな道へと歩み出しました。その信仰の道は聞くことから始まります。

わたしたちも神の前に心と耳を開き、十字架も復活も裁きも罪の赦しも、全てがわたしのためのみわざと心低く受け止め、主イエスこそわたしの救い主と素直に信じていきましょう。そして主と共に歩み続け、コルネリウスのように神の目が注がれるほどの信仰、この世にあって光り輝く信仰が授けられるよう、願い求めていきましょう。

（使徒一〇章三四～四八節 宮間 彰宏 兄）

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、
愛と交わりを通して
お互いに成長する教会

《２０２６年度
教会全体課題》

神さまによって
示された新しい歩みの中で、
キリストの体としての一致を
祈り求める
ーコミュニケーション、交わり、
伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○定例役員会をカナンルームで行います。役員の方はお集まりください。

《教育奉仕委員会より》

来年一月一〇日（日）に「二十歳の祝福礼拝」をささげます。対象となるのは、二〇〇六年四月二日から二〇〇七年四月一日までに生まれた方です。

該当される方には書面で改めてご案内いたしますが、お心あたりのある方は、担当役員の川越啓子姉または高知尾有里姉に一〇月二五日（日）までにお知らせください。

《ロビーの会より》

本日の礼拝後、ロビーでコーヒーサービスを行います。ホットコーヒーとお菓子を七〇円で販売します。どうぞお越しください。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《シオンの会より》

一〇月二一日（水）一〇時三〇分～一二時シオンの会を地下ホールで行います。（オンラインも併用します。）テキスト「使徒言行録を読もう」P.一三一 一八間奏 海を越えて（一五章 三六節～一六章四〇節）を読みます。

新しく参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《祈りの会より》

一〇月二五日祈りの会をホール集会後一三時三〇分開始予定でカナンルームで開催します。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

《ルツの会より》

次週二五日(日)の礼拝後、ルツの会を第二・三シオンルームで行います。民数記二八章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。
(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十九篇】

主こそ王。
諸国の民よ、おののけ。
主はケルビムの上に御座を置かれる。
地よ、震えよ。
主はシオンにいまし、大いなる方。
すべての民の上に高くいます。
御名の大いなること、畏るべきことを告白せよ。
(司・会)
主は聖なる方。
力強い王、裁きを愛し、公平を固く定め
ヤコブに対する裁きと恵みの御業を
御自ら、成し遂げられる。
我らの神、主をあがめよ。
その足台に向かってひれ伏せ。
(司・会)
主は聖なる方。
主の祭司からはモーセとアロンが
御名を呼ぶ者からはサムエルが、主を呼ぶと
主は彼らに答えられた。
神は雲の柱から語りかけ
彼らに掟と定めを賜り
彼らはそれを守った。
我らの神、主よ、あなたは彼らに答えられた。
あなたは彼らを赦す神
彼らの咎には報いる神であった。
我らの神、主をあがめよ。
その聖なる山に向かってひれ伏せ。
(司・会)
我らの神、主は聖なる方。

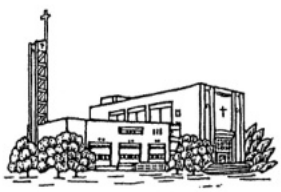
《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教　「選ばれた人ヤコブ」
聖　書　創世記25章27～34節
説教者　吉村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説　教　「どこへ行っても、何があっても」
聖　書　創世記28章10～17節
説教者　宮間 彰広 兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)
讃美歌　79番　388番
説　教　「キリストの業に自分をささげ」
聖　書　フィリピ2章25～30節
説教者　黄 允湜 牧師





主日礼拝 (午前１０時３０分)

讃美歌　　２０番　　３７４番
説　教　　「真実に人を心配する人」
聖　書　　フィリピ２章１９～２４節(新約 P.363)
司　式　　山下 純一 兄
聖餐司式　黄 允湜 牧師
説教者　　黄 允湜 牧師

前奏曲「きよけき心を」J.S.ﾊﾞｯﾊ

○讃美歌２０番

1.主をほめよ わがこころ いまわのときまで
　わが生くる日のかぎり 主をたたえまつれ
　この身とたましい たまいしみかみを
　ハレルヤ ハレルヤ

2.たじろがぬこころもて ヤコブのたのみし
　活ける神あおぐこそ げにさいわいなれ
　こよなきはげまし うくるぞうれしき
　ハレルヤ ハレルヤ

3.あめつちとものみなを つくらせたまいし
　わが神のみちかいは ことごと果されん
　世界をこぞりて いざ主につかえよ
　ハレルヤ ハレルヤ
　　アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美
「主に歌え」　DAVE and JEAN PERRY作曲
ハレルヤ、ハレルヤ！
歌え 神に 諸人よ　ハレルヤ！
歌え 神に 諸人よ　ハレルヤ！
歌え 讃えよ 神を
歌い 讃えよ 神を
歌え 神に 諸人よ　ハレルヤ！
歌え 神に 諸人　ハレルヤ！
新しき歌を喜びて歌え 主に
新しき歌を　ハレルヤ！ほめ歌
ほめ歌え 主に 神に 神に
歌え ほめ歌え 神に
歌え 神に 諸人よ　ハレルヤ！
歌え 神に 諸人　ハレルヤ！
歌え 神に 歌え　ハレルヤ

○讃美歌３７４番

1.主イエスにならいて み神のみむねを
　日ごとの糧とし よろこび努めよ

2.この世のさかえは 夢よりはかなし
　あめなるほまれを 望みてつとめよ

3.あてなくさまよう この世の友らに
　みかみのまさみち たゆまず数えよ

4.のぞみをうしない 去りゆく人あり
　すくいのひかりを たえせず掲げよ

5.はなむこきたりて めさむる者をば
　ほむる日まぢかし 忍びてつとめよ
　　アーメン

聖餐曲「聖なる者たちの喜び」D.ｳｯﾄﾞ

後奏曲「トレルリ氏による協奏曲」　J.G.ｳﾞｧﾙﾀｰ